

人権資料・展示

第49号(2015年7月発行)

全国ネットワークニュース



編集・発行

ツラッティ千本

柳原銀行記念資料館

和泉市立人権文化センター

三重県人権センター

堺市舳松人権歴史館

人権資料・展示全国ネットワーク

第20回総会への案内

人権資料・展示全国ネットワーク(以下、人権ネット)も今年で20周年を迎えます。その記念すべき総会を、全国水平社創立の地・京都で開催することになり、事務局(このニュースレター編集・発行の5館)では、京都の人権ネット加盟の(財)世界人権問題研究センター、京都部落問題研究資料センター、丹波マンガン記念館にも呼びかけ、準備をすすめてきました。

総会会場は、全国水平社の初代中央執行委員長・南梅吉の居宅(全水の初代本部)があった千本地区に隣接する佛教大学です。その後、この地区の人権資料展示施設「ツラッティ千本」をご案内します。

翌日のフィールドワークは、京都市内3ルートを選択していただけるよう設定しました。二日間の詳細を以下にお知らせします。ふるって、総会、そしてフィールドワークにご参加ください。

- 1、日程 2015年 9月17日(木) 総会、交流会
9月18日(金) フィールドワーク

2、主な予定

9月17日(木) 総会

会場 佛教大学 1号館 307、308号教室にて

京都市北区北花ノ坊町96 TEL 075-491-2141 (代)

受付開始 13時 開会 13時30分 閉会 16時

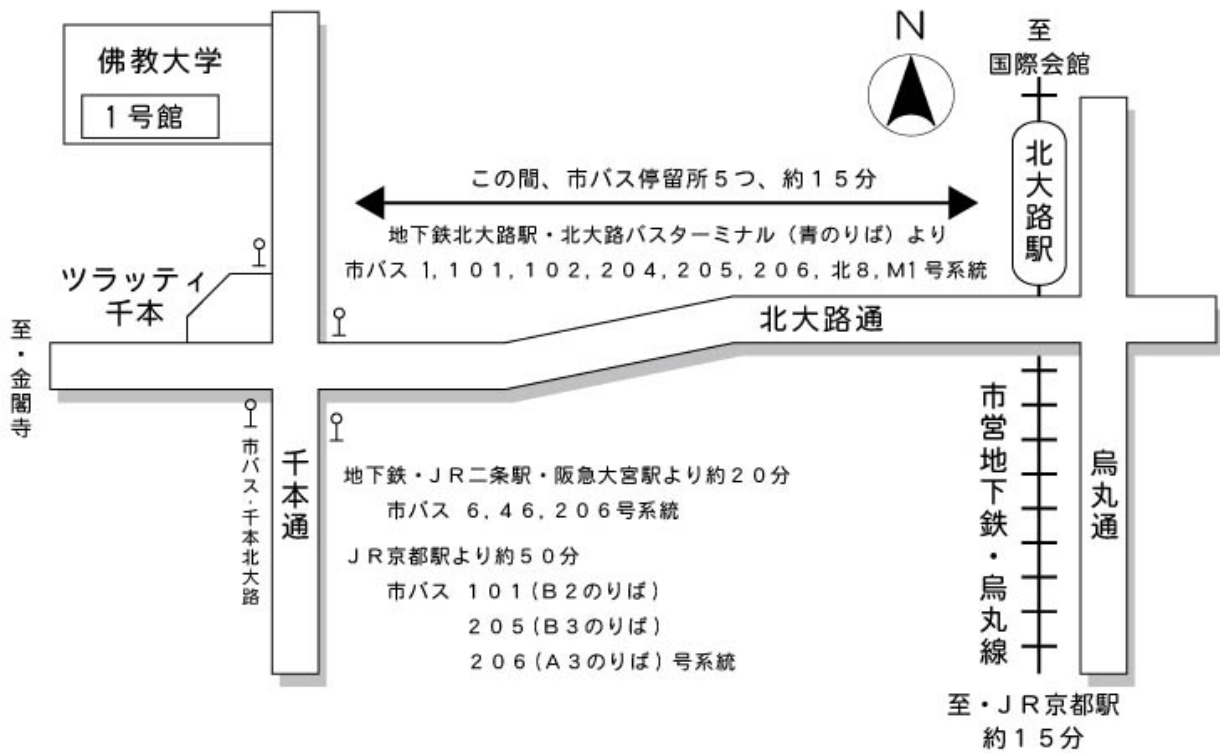
その後、京都市人権資料展示施設「ツラッティ千本」を見学して宿舎へ移動

交流会 19時 宿舎の「ルビノ京都堀川」にて

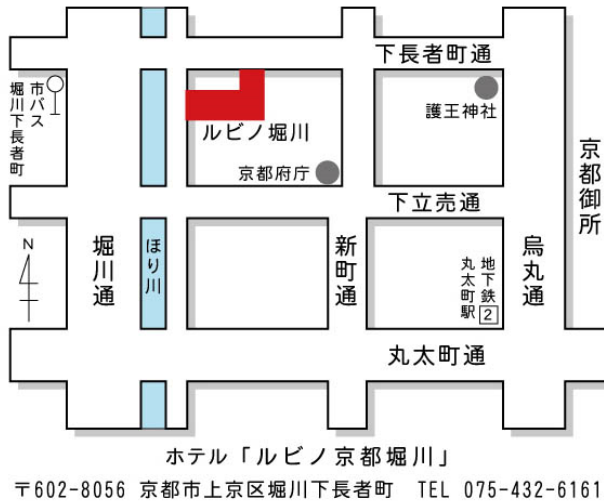
京都市上京区東堀川通・下長者町通交差点南へ2分 TEL075-432-6161 (代)

9月18日(金) フィールドワーク 京都市内で3コース用意しています。

- 3、問合わせ 「ツラッティ千本」(古川) TEL&FAX 075-493-4539 E-mail info@tsuratti.com



| | |
|----------|--|
| 9月17日(木) | |
| 13:00 | 総会・受付開始 (佛教大学の南正門の正面が1号館、その3階です) |
| 13:30 | 総会 (1, 議案審議 2, 新しい加盟施設紹介 3, 各地と現地からの報告 4, その他) |
| 15:00 | 記念講演 「中・近世の四条河原・あまべの風景 ―描かれた河原者のなりわい―」 下坂 守(京都国立博物館名誉館員、(公)世界人権問題研究センター嘱託研究員) |
| 16:30 | 閉会 |
| | 閉会后、徒歩5分の 京都市人権資料展示施設 「ツラッティ千本」の見学  |
| 17:30 | 宿舎・交流会会場へ移動 |
| | 19:00より 交流会 |



| 9月18日（金）フィールドワーク 9時、希望コース別に宿舎を出発 | | |
|---|--|--|
| 北コース | 中コース | 南コース |
| 北野天満宮 ↓ 千本閻魔堂 ↓ 益井茂平碑 ↓ 御土居公園 ↓ 紙屋川など | 三条円光寺 ↓ 四条河原 ↓ 冠者殿社 ↓ 四条あまべ跡 など | 柳原銀行 記念資料館 を見学の後 ↓ 界隈の全国水 平社創立に ゆかりの跡を 巡ります |
| 昼食後 解散 | | |



フィールドワークに用意された三コースは

《北コース》

中世「千本の赤」の活躍した北野神社から西陣地域を通過、近代、蓮台野の教育、医療、殖産に尽力した益井親子の足跡や、洛中洛外を隔てた「御土居」の遺構を巡ります。

《中コース》

前日の下坂守さんの記念講演をうけて、中世から近世の「あまべ」の移動、変遷などを踏査します。

《南コース》

被差別部落の人々によって設立された柳原銀行、全国水平社創立ゆかりの跡など、近代の記憶を訪ねます。

詳細・費用など案内は各加盟団体あて、別途、お送りいたします。

【トピックス】

全国水平社創立宣言を世界の記憶に、ふたたびの取り組み

水平社博物館 駒井忠之

水平社博物館を運営する奈良人権文化財団と柳原銀行記念資料館を運営する崇仁自治連合会（京都市）が共同申請者となり、2017年の世界記憶遺産に推薦している資料は、「全国水平社創立宣言」（以降、「水平社宣言」）を中心に、水平社創立者たちの写真、『全国水平社連盟本部日誌』、荊冠旗など11点です。

前回日本ユネスコ国内委員会からは、完全性の要件を満たしていない点や、保存のあり方や公開性および希少性についてさらに説明が必要であることが指摘されました。再挑戦となる今回は、必要最低条件であるそれら指摘点を充足させるとともに補強した上で、さらなる申請書の改善に努め、6月3日に申請書を提出しました。

被差別マイノリティ自身が発した世界で初めての人権宣言である「水平社宣言」に込められた人間の尊厳と平等を求める思想は、世界中の人々が共有するとともに後世に永続的に伝承する価値があり、世界記憶遺産にふさわしい記録であると確信しています。

しかし、6月19日で締め切られた日本ユネスコ国内委員会による世界記憶遺産の国内公募には、「全国水平社創立宣言と関係資料」を含め16件もの応募がありました。この16の物件から今年の9月に国内委員会によって選考された2件が、来年3月に国内候補としてユネスコに推薦される予定です。

現在賛同署名やイベントの開催など、世界記憶遺産登録に向けた活動が拡大されていますが、その一環として8月30日には奈良市内でシンポジウム「人権博物館の国際発信 ～水平社宣言を世界の記憶に～」(詳細は水平社博物館HP)が開催されます。人権ネット加盟団体の皆様にはぜひご参加いただき、後押しくださいますようお願いいたします。

事務局より

今年度も、全国の皆さんにお会いできるのを楽しみに、「全国ネット」総会へ向けての準備もたけなわです。今年は、全国各施設のみなさんと、どんな情報交換ができるか、熱い思いがふくらんでいます。

ここ数年の総会や情報交換会では、大阪人権博物館（リバティ大阪）などの窮状をはじめ、全国の各施設から、管理・運営母体の変更、予算の緊縮、人材確保の難しさなどの話をうかがいました。

ところが今、そのような状況であるにもかかわらず、取り組まなければならない研究課題、喫緊の人権課題は多く、とりわけインターネット上の書き込みや「ヘイトスピーチ」にみる差別を煽る言動には、人権尊重の社会規範が揺らいでいるとうことを痛感せずにはられません。私たち全国ネット加盟施設・団体が担ってきた人権啓発の本質が問われているともいえます。

展示方法やガイドの方法ひとつをとってみても、来館者の方に単に〈わかりやすい〉というのではなく、ともに主体的に〈考えられる〉展示やガイド、そんな先進事例についても今年は情報交換できればと思っています。また各施設の間で、貴重な所蔵品の貸し借りや、共同展・巡回展などの連携を充実させる。そのような情報交換も図られればとも思います。なにはともあれ、心より、多くの皆さんが京都の地にご参集くださるのを心待ちにしています。 [文責・ツラッティ千本／古川豪 (NPO法人くらしネット21)]